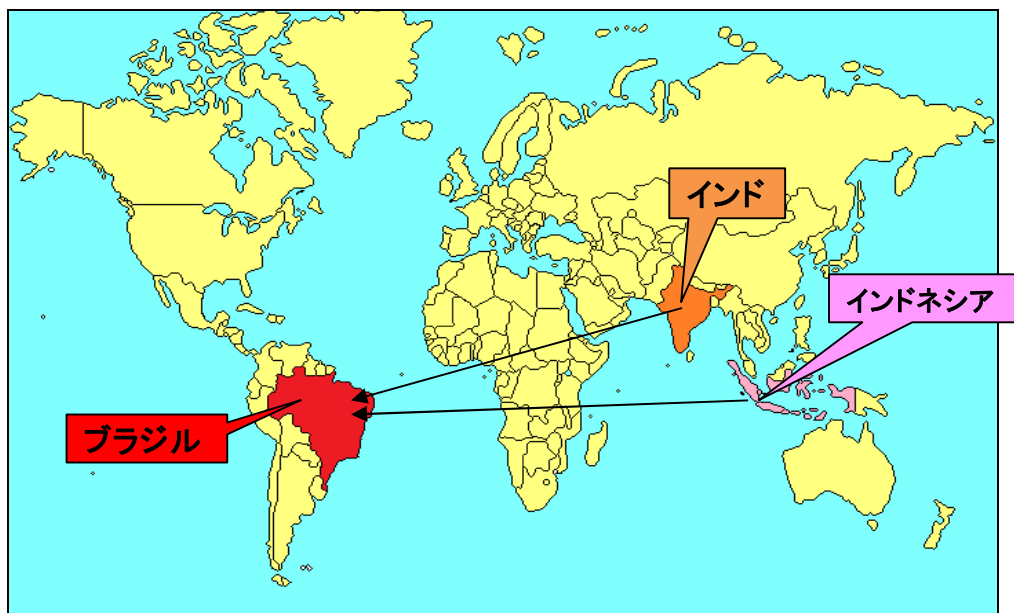


インドネシア及びインドから ブラジルへのチクングニヤ熱輸入例

2010年12月9日 ProMED 情報(A Tarde)



ブラジル保健省は、チクングニヤ熱の監視と予防活動を強化することにしました。ブラジルでは、今年8月までチクングニヤ熱患者の報告はありませんでしたが、8月以降サン・パウロ Sao Paulo から2名、リオ・デ・ジャネイロ Rio de Janeiro から1名の計3名の確定患者が報告されました。患者は、いずれも国外への旅行中に感染し、全員回復しています。リオ・デ・ジャネイロの41歳男性とサン・パウロの55歳男性はインドネシアからの帰国後に発病し、サン・パウロの25歳女性はインドに滞在していました。

デング熱と同様に、チクングニヤ熱はウイルスが感染したネッタイシマカ及びヒトスジシマカにより感染伝播します。南北アメリカでのチクングニヤウイルスの循環はこれまで報告されていません。同国保健省は、ブラジルにはウイルスの媒介蚊が繁殖する場所が多数存在することから、監視強化の重要性を強く訴えています。

[ProMed 調整者]

ブラジルにおける感染伝播持続のための諸条件は、どの場所でも存在し、デング熱が流行している人口の稠密なブラジルの都市部での流行発生の危険性には、重大な関心を払う必要がある。流行発生前に同国保健省が予防対策をとることは賢明なことである。アメリカ大陸の熱帯地域で一旦流行が発生した場合は、デング熱のように、それを制圧することは大変困難を伴うだろう。